

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
スチレン版画	中	つくる （美術）	森永

<ねらい>

- 道具を使って模様をつけることができる。
- カラーボード全体にローラーでインクをつけることができる。
- 紙全体をこすることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

（１）模様をつける。

- フォークで線を引く。（４本のラインができる）
- ドライバーで押す。（小さな星の形ができる）
- クッキーの型を押す。（様々な形ができる）
- ペットボトルのキャップを押す。（丸の形ができる。）
- ボールペンで描く。
- マジックペンで描く。（油性マジックペンで描くと、板が溶ける。）

（２）画用紙をテープでカラーボードに仮止めしておく。

（３）ローラーにアクリル絵の具をつけて、カラーボード全体にインクをつける。

（４）ばれんで紙をこす。

（５）画用紙をめくってははずす。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

○良かった点

- 彫刻刀を使わなくても版画を楽しむことができる。
- 模様のバリエーションが豊富（生徒によって違う作品ができる。）
- 画用紙をめくる瞬間、模様が紙に写っているか楽しみにする様子が見られた。

○改善点

- マジックペンは、力を入れて描かないと模様につかない（板が溶けにくいのため。）

<その他（材料、費用、購入先等）>

- カラーボード（ダイソー３枚１００円）、ローラー、アクリル絵の具、画用紙